



岐阜北週報

5月 青少年奉仕月間

□ 題 字	永瀬 章	□ 会 長	永瀬 章	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	前田 吉彦	2017-2018
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	西垣 康紀	No.1718
		会報委員長	安藤 重広	18.5.9発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1717 回 例会 4/25 (水) 卓話 (10) 講師 黒子智代様 C3R株式会社 代表取締役 「人の心をギュッと掴む心理学」 100万\$ 担当：川島会員・辻会員	第 1718 回 例会 5/9 (水) 慶祝行事 卓話 (11) 担当：河村会員・谷田会員	第 1719 回 例会 5/16 (水) 卓話 (12) アシスタントガバナー訪問 100万\$ 担当：竹内会員・国井会員

会長挨拶



今年で第八回を迎える高橋尚子杯ぎふ清流マラソンが先日岐阜メモリアルセンターを発着点として、岐阜市内を經由して、最後は長良河畔を走り抜けました。実に、11,300人が参加したそうです。世界を代表する選手も多数参加していましたし、例年走っていたが今年はいよいよ先日、ポストンマラソンで日本人選手として、瀬古選手以来31年振りに優勝した公務員ランナーの川内選手も参加しており、例年以上に、大会を盛り上げてくれました。

一昨年より大会開催日を約一か月早め、絶好のコンディションの中での競技にという思いとは裏腹に、今年は四月なのに真夏日になるという日差しの中でのレースとなりました。21人の救急搬送者があったそうで過去最高の厳しいコンディションの中でのレースだったそうです。

我々沿道の者は例年ランナーにエネルギーとなるようなバナナ、ゼリー、キャンディーなどを提供しました。中でも一番水が沢山出ます。でも、皆、勢いよく走ってくるため、うまく手

会長挨拶 続き

渡しができません。後方を走っている選手は立ち止まってゆっくりと食べてくれます。『あと3km頑張る』と声をかけ送り出します。

来年は、第九回大会でありQちゃんと引っ掛け記念大会だそうです。今から楽しみにしています。因みに来年は4月28日(日)です。

現在、日本のランニング人口は1000万人以上だそうです。その大半はメタボなどの理由で痩せるために走っている人が多いそうです。

①その効能として、マラソンは有酸素運動なので、血液中の糖分や脂肪を酸素を使って燃焼して消費します。

②走る距離が長くなればなるほど、蓄積した内臓脂肪も消費し、メタボ気味の方は体重の減少と、健康に効果があるそうです。

例年、応援していると思うのですが、高齢者の方も多く、私自身も是非走ってみたいと思うのですが、中々叶いません。当クラブでも前回の献血例会でも表れていましたが、健康でない人が多かったと思います。今から一年後です、挑戦してみませんか。

出席報告

会員数：32名
 出席数：24/32名
 出席率：75.00%
 欠席者：8名 (出席免除 4名 85.71%)
 訪問者：黒子 智代様
 C3R株式会社 代表取締役

ニコニコBOX（敬称略）

林 隆行：同好会のゴルフコンペで事故にあいました。

前田 裕弘、岡田（一）、近藤 祐司、安藤重広、松野 秀計、国井 省二、岡田（忍）：
林さんホールインワンおめでとうございます。

辻 博：本日卓話です。黒子先生よろしくお願ひします。

川島 明雄：今日は辻さんありがとう。

川崎 賢二：連休は京都に出かけます。

委員会・同好会報告（敬称略）

小泉会員：本日は来期の委員長会議があります。

例会行事

卓話「人の心をギュッと掴む心理学」
卓話者 黒子 智代様

例会風景



例会風景 続き



次回例会のご案内

第1719回 例会 5月16日（水）
卓話（12）
アシスタントガバナー訪問
100万\$

担当者：竹村会員・国井会員

会報・広報 5月担当 安藤会員

卓話

	右脳 (感覚/直感/イメージ)	左脳 (論理/分析/計算)
診断その① 情報のインプット (理解)	左指上 = 右脳で理解 感覚的にとらえるので、図やイメージなどで説明されると理解しやすい。	右指上 = 左脳で理解 論理的にとらえるので、言葉や数字などで説明されると理解しやすい。
診断その② 情報のアウトプット (表現)	左腕上 = 右脳で表現 直感的に説明するので、「すごくすごかった」のような表現になりやすい。	右腕上 = 左脳で表現 論理的に説明するので、「何がどのようにどうだった」のような客観的的確な表現が多い。

■右脳・右脳タイプ 『感覚とイメージで突っ走る、天才肌タイプ』

感覚でとらえて感覚で伝えるので、本人には感覚で理解できていても、なかなか人に的確に伝わらないことが多い。ただし右脳には優れた能力が潜んでいるので、天才肌が多い。

□このタイプの上司・部下 / 先生・生徒 / 先輩・後輩 とのコミュニケーションは

・何か聞いてもらうときは、イメージや感情で訴えよう。あなたの気持ちを理解して親身になってくれることが多そうです。何か聞かされるときは、イメージ・感情で訴えられるケースが多いので、分かりにくければ、論理的な内容に置き換えて、その都度確認を取るといいでしょう。

■右脳・左脳タイプ 『直感でとらえて論理的に表現、得する出世タイプ』

感覚でパッととらえて論理的に的確に伝えることができるので、得するタイプ!“出世タイプ”とも言われる。だがこのタイプの人、意外に少ない。

□このタイプの上司・部下 / 先生・生徒 / 先輩・後輩 とのコミュニケーションは

・何か聞いてもらうときは、イメージや感情で訴えよう。何か聞かされるときは、論理的にうまく伝えてくれるはずなので、問題はないでしょう。このタイプの人、コミュニケーション上手な人が多いので本人も周りも苦労知らず。

■左脳・左脳タイプ 『論理力に優れた、賢く頼れる存在の先輩タイプ』

論理的にとらえて論理的に伝えるので、本人もまわりのひとも、ものごとを的確に理解できる!ただし、堅い感じがするかもしれない。左脳左脳の人、イメージや感覚・感情を研ぎ澄ましてみるとよいでしょう。

□このタイプの上司・部下 / 先生・生徒 / 先輩・後輩 とのコミュニケーションは

・何か聞いてもらうときは、論理的・分析的に訴えよう。このタイプの人に感情に訴えても、あまり通用しないのでご注意を。何か聞かされるときは、論理的にうまく伝えてくれるはずなので、問題はないでしょう。

■左脳・右脳タイプ 『論理でとらえて感覚で表現する両刀使い、おちゃめタイプ』

論理的にとらえて感覚で伝えるので、本人は的確に理解できていることでも人には理解してもらいにくいかもしれないが、いったん理解したことが右脳によって表現する際に天才的な発明にいたることもあります。頭の中では分かっているのになかなか人に伝わらないという人はこのタイプかもしれません。

□このタイプの上司・部下 / 先生・生徒 / 先輩・後輩 とのコミュニケーションは

・何か聞いてもらうときは、論理的・分析的に訴えよう。何か聞かされるときは、イメージ・感情で訴えられるケースが多いので、分かりにくければ論理的な内容に置き換えて、その都度確認を取るといいでしょう。